

1 調査結果の概要

	自校	東広島市	広島県	全国
平均正答率（％）	5 2	5 8	5 5	5 4． 3
正答率4 0％未満の生徒の割合（％）	2 3． 8	1 8． 0	2 2． 3	2 2． 5

2 課題が明らかになった問題の分析と改善策

	問題番号	育てたい力	対象学年	検証方法	目標値
1	1 四 正答率 1 9％	根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる力（1年） 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加え、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる力（2年） 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる力（3年）	第1学年 思判表 書くこと 第2学年 思判表 読むこと 第3学年 思判表 読むこと	9月10月 ①『写真』の意見文 根拠を明確にして書こう」の単元の中で、根拠がある意見文と根拠がない意見文を比較させ、自分の意見に説得力を持たせるためには、自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠を明確に示す必要があることを実感させる。そして、その根拠が、確かな事実や事柄に基づいたものであるかを生徒同士で意見を共有しながら確かめさせる。また、より自分の考えが相手に伝わるようにするために、意見と根拠の関係が分かりやすくつながっているかどうかを確かめたり、根拠を複数示したりして、生徒が工夫してよりよい文章を書くことができるようにする。 ②「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」（説明文）を読んで、単元の最後に自分の知識や経験、本文中の言葉を根拠として示し、「美」について自分の考えを書く場面を設ける。その際、書こうとする根拠が自分の考えを支えるものであるかどうか、また、根拠が確かな事実や事柄に基づいたものであるかどうかを生徒同士で意見を共有しながら確かめさせる。そして、他の生徒の意見を聞いた上で、これまで書いてきた文章を、より自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるよう時間を設ける。 ③「受け取る『利他』」を読んで、単元の最後に文章中の言葉を引用して、「利他」について自分はどのように考えるのか、自分の考えを伝える文章を書く場面を設ける。その際、文章を書く際に気を付けるべきポイントを全体で共有する。例えば、敬体と常体などの文体や、簡潔な述べ方と詳細な述べ方、自分の考えを序論で述べるのか、結論で述べるのか、意見と根拠の関係が分かりやすくつながっているかどうか、外部の資料を適切に引用しているかどうかなど、より自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるように促す。	定期テストで 正答率 8 0％
2	2 四 正答率 14.3%	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる力	第2学年 思判表 話すこと 聞くこと	1 2月 プレゼンテーションの単元の中で、聞き手に話の内容を分かりやすく伝えるために、視覚に訴えることの効果について考え、資料や機器を用いるなどして、話の要点や根拠を明らかにしたり、説明を補足したり、中心となる事柄を強調したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫させる。その際、どのような資料や機器をどのように用いればよいのか、伝えたい内容を適切に伝えるために有効かなどについて考え、必要な資料や機器を検討する時間を設け	定期テストで 正答率 8 0％

				る。	
3	4 二 正答率 14.3%	読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる力	第1学年 思判表 書くこと	10月 ①『写真』の意見文 根拠を明確にして書こう」の単元の中で、自分の考えを書いた文章を見直すことによって、伝えようとする事実や事柄、意見などが十分に書き表されているかどうかを検討させる。その際、書き手としてだけでなく、読み手の立場に立って、伝えようとするのが伝わるかどうかを確かめながら文章を読み返すことを大切にさせたい。具体的には、漢字や語句の選び方や使い方が適切か、文の長さや、段落の順序、語順などが適切であるかどうかをみる。	定期テストで 正答率 80%